

第61期 中間株主通信

2024.10.1 ▶ 2025.3.31



証券コード:4554

財務ハイライト

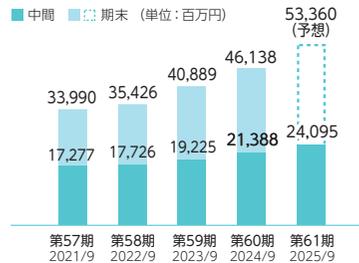
- POINT.1** 上半期連結売上高は、女性医療の主力製品が貢献し、前期比27億円増(12.7%増)となりました。
- POINT.2** 営業利益は、新製品・承継品の販売拡大と製品ミックス、24年度薬価改定での不採算品再算定の影響により粗利率が改善したこともあり、前期比8.6億円増(59.7%増)となりました。
- POINT.3** 親会社株主に帰属する中間純利益は、前期に発生の一過性の投資有価証券売却益がなかったことの影響により前期比29.7億円減(69.8%減)となりました。

※ 2022年9月期より会計基準を変更しております。

売上高

240億95百万円

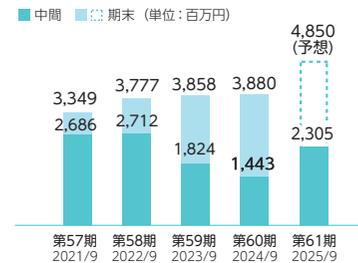
前期比 12.7%▲



営業利益

23億5百万円

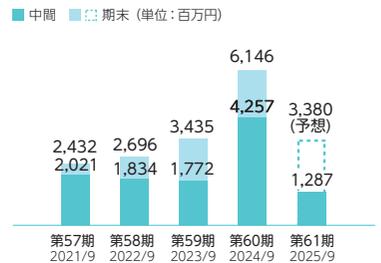
前期比 59.7%▲



親会社株主に帰属する中間純利益

12億87百万円

前期比 69.8%▼



総資産

926億72百万円

前期末比 3.0%▲



自己資本比率

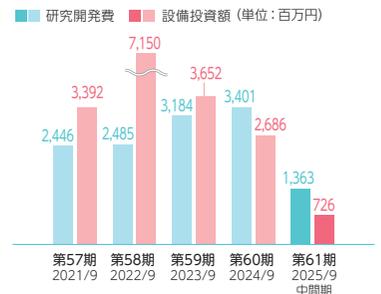
49.3%

前期末比 1.3ポイント▼



研究開発費 設備投資額

13億63百万円 7億26百万円



代表取締役会長 岩井 孝之

代表取締役社長 森田 周平

ご挨拶

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社は、1965年の株式会社設立以来、「優れた医薬品を通じて、人々の健康やかな生活に貢献する」「富士製薬工業の成長は、わたしたちの成長に正比例する」という経営理念のもと事業を営み、本年4月に60周年を迎えました。これもひとえに、株主の皆さまにご支援いただき、ともに歩んでいただいた賜物と存じます。

当社グループは、2024年10月に新経営体制に移行し、また、同月に長期ビジョン2035、11月に新中期経営計画を発表いたしました。

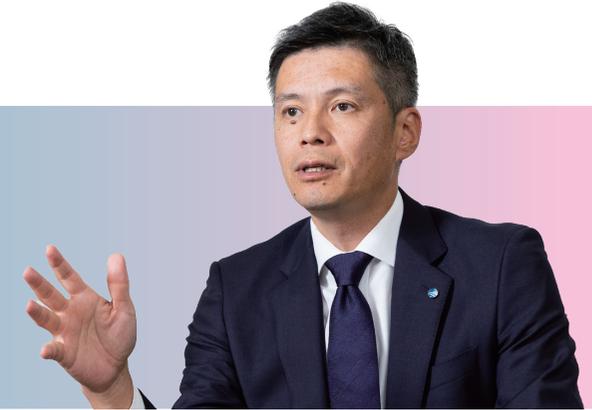
長期ビジョン「女性医療で新たな価値を創出し続け、誰もがwell-beingを実感できる社会へ貢献する」を実現するため、これからもグループ一丸となって経営理念である「成長」と「貢献」のサイクルを加速させてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



中期経営計画を前に進め、 誰もがwell-beingを実感できる社会の実現に 向かっていきます。

代表取締役社長 森田 周平



中間期の業績と成果

2025年9月期中間期の業績は、連結売上高240億95百万円(前期比12.7%増)、連結営業利益23億5百万円(前期比59.7%増)となりました。女性医療の主力製品、新製品および承継品の売り上げが貢献するとともに、製品ミックスや24年度薬価改定での不採算品再算定などの影響で粗利率が改善し、利益成長を後押ししました。計画比では連結売上高は92.1%、連結営業利益は96.8%となりましたが、未達分は下半期の追加施策によりカバーします。

当社が2024年11月に発表した中期経営計画における中期の成長戦略は、女性領域、バイオシミラー、グローバル CMOの3つです。

本中間期において、これらは順調に推移し、売上高は前期比で女性領域が6.2%増、バイオシミラーが6.0%増、CMOでは10.2%増となりました。

女性領域

女性領域においては、エフメノ®カプセルやファボワール®錠などの主力製品が継続的な需要に応え順調に進捗しております。昨年12月に販売を開始したアリッサ®配合錠も、高くご評価いただいている安全性を強みに、加えて有効性、忍容性を訴求していくことで、さらなる市場浸透を見込んでおります。また、グループ会社OLICにおいては、アリッサ®配合錠と

同成分の医薬品を、タイでは経口避妊剤Nextstellis™として展開しており、2025年1月には薬局での販売を開始しました。2月にはOLICがジェネリック医薬品2製品の販売を開始しました。 **Topic**

バイオシミラー (BS) 事業

BS事業において、2024年5月に販売を開始したウステキヌマブBS皮下注シリンジ[F]は、医療機関での採用が順調に進んでおります。また、2024年に製造販売承認申請を行ったBSパイプラインの3製品は今秋の承認取得を見込んでおり、今後ますます当社のBS事業の存在感が高まっていくものと考えております。

グローバルCMO事業、その他領域

グローバルCMO事業においては、グループ会社であるOLICにおける受託事業が拡大しました。その他領域においては、2024年7月に田辺三菱製薬より承継した製品および2024年9月期に販売を開始したジェネリック医薬品が伸長し、売上に貢献しております。

2025年9月期の見通し

2025年9月期下半期は、販売活動強化・費用適正化に加え、契約一時金収入を予定し、通期で売上高533億60百万円

(前期比15.7%増)、営業利益48億50百万円(前期比25.0%増)と、売上高、営業利益ともに過去最高を見込んでおります。

引き続き、変化に柔軟に対応しながら、全社一丸となって、誰もがwell-beingを実感できる社会の実現に向かってまいります。

今後も、株主の皆さまにおかれましては、当社事業の持続的な成長とさらなる社会への貢献にご期待いただき、長期のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Topic

グループ会社OLICによるNextstellis™の 薬局販売および医薬品2製品の販売開始

Nextstellis™は当社グループが日本国外で初めて販売した医薬品で、2023年4月よりタイにおいて「避妊」の効能効果で販売しております。2025年1月に薬局でも販売できる医薬品分類へ変更が認められ、タイ国内にある薬局で販売が開始されております。

また2月には、子宮内膜症を効能効果とするOLIGEST®、急性疼痛管理および術後疼痛の短期治療を効能効果とするOLICOXIB®の2製品を、ジェネリック医薬品として発売しました。

OLICは、これまでCDMO(医薬品開発製造受託企業)として世界に貢献してはきましたが、CDMOに加えPharma事業でも社会へ貢献してまいります。



2025年1月10日当社リリース



2025年2月18日当社リリース

60th

60周年、挑戦への気持ちを新たに作る今

創業者の今井精一の夢は、仕事を通して一人ひとりが多くの経験を積み、貢献できることを増やしお取引先さまとともに発展する、みんなの幸せを広げていくことでした。当社は、1965年の設立時にこの考えを経営理念に、その後、「徳」の考えを人事制度に導入し大切にしてきました。徳とは、「自己の最善を他者に尽くしきること」。かつては「勢い」という意味もあったことから、「いきおい」をモチーフに60周年のロゴを制作いたしました。斜めに横切るデザインで勢いを視覚的に表現し、女性領域やバイオシミラーなどへの挑戦をイメージしています。当社は今後も、新たな価値を創出し続け、誰もがwell-beingを実感できる社会の実現に挑戦してまいります。

1965
富士製薬工業株式会社 設立

1973
富士市内に工場および
研究棟を建築
製造・研究の主要拠点を富士市内に



1995
日本証券業協会に
株式を店頭登録

2004
ジャスダック証券取引所に
株式を上場

2011
人事制度に
徳目評価を導入

2012
東証1部(当時)上場
OLIC(Thailand)Limitedを
子会社化



2018
Alvotechグループとの
日本国内における
パートナーシップ契約の締結

2022
東証市場再編により
プライム市場へ移行

2025~
誰もがwell-beingを
実感できる社会へ

1965 1970 1975 1980 1985 1990 1995 2000 2005 2010 2015 2020 2025 2030

1974
女性医療用医薬品
の販売開始

1996
ジェネリック造影剤
の販売開始

2008
女性医療の新薬取り扱い開始

2024.9~10
バイオシミラー3製品の
製造販売承認申請



バイオシミラー

2013年 G-CSF製剤
フィルグラスチムBS注[F]



女性医療

2016年 不妊症治療剤 **新薬**
ウトロゲスタン[®]腔用カプセル



女性医療

2021年 更年期障害治療剤 **新薬**
エフメノ[®]カプセル



女性医療

2023年 経口避妊剤 **新薬** 海外
Nextstellis[™]



バイオシミラー

2024年
ヒト型抗ヒトL-12/23p40
モノクローナル抗体製剤
ウステキヌマブBS皮下注[F]



女性医療

2024年 月経困難症治療剤 **新薬**
アリッサ[®]配合錠

株主メモ

事業年度

毎年10月1日から翌年9月30日まで

定時株主総会

毎年12月開催

基準日

定時株主総会: 毎年9月30日

期末配当金: 毎年9月30日

中間配当金: 毎年3月31日

そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告方法

電子公告(当社ホームページに掲載)

<https://www.fujipharma.jp/ir/announce/>

ただし、事故その他やむを得ない事由がある場合には、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話 照会先 ☎ 0120-782-031

ホームページ <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

上場証券取引所

株式会社東京証券取引所 プライム市場

IRに関するお問い合わせ

経営戦略本部 経営企画部

コーポレートコミュニケーション課

〒102-0075 東京都千代田区三番町5番地7
泉館文人通り6F

お問い合わせフォーム

<https://www.fujipharma.jp/inquiry/>

 富士製薬工業株式会社

見やすいユニバーサルフォントを
使用しています。

UD
FONT